

杉山書道教室について

講師:杉山理恵 最終編集日 2026/1/1



資料をダウンロードしていただきありがとうございます。この資料では大きく分けて2点説明をしております。1. 書道という習い事の特徴 2. 杉山書道教室について。必要なところを適宜読んでいただければと思います。

なお本稿の最後に「無料体験申し込み書」のページがあります。体験にお越しの際は、そちらの画面(または印刷したもの)をご持参くださいませ。

目次

1.他の習い事とは少し違う書”道”	2
2.なぜ書道は人気の習い事なのか	3
3.書道について知り実際に書いてみましょう(お手本有り)	4
4.杉山書道教室で大事にしていること	10
5.親御様がたの声	12
6.体験でできること	14
7.最後に	15
8.無料体験申し込み書	16

1.他の習い事とは少し違う書”道”



書道の”道”とは日本の古来から大切にされてきた伝統が含まれています。柔道や剣道などはスポーツでもありながら、元来は生きる道を体得するお稽古ごとの一つでした。

書道でも現代でも大切にされている日本文化を踏襲しております。それは主に礼儀、お行儀、言葉遣い、思いやりの4つです。このような日本で大切にされてきた伝統を体得するために具体的には以下のことを重点的に指導しております。

- ・靴を揃える
- ・人と話すときの言葉遣い
- ・困っているお友達を助けてあげる

これらについてのより詳しい取組みについては 4 章の「杉山書道教室で大事にしていること」を御覧くださいませ。

2.なぜ書道は人気の習い事なのか



他の習い事と書道がどう違うのか。それは、「書道は勉強・運動とは別で輝けるチャンスがある」と言う点です。それ以外にも4つあります。

1. 怪我をするおそれがない
2. 話すことが苦手でも一人でもくもくと取り組める
3. 比較的金がかからない
4. 字は一生モノなので一度身につくと、きれいな字を書けることで自信を持ち続けられる

これらは、今まで教室に通われた親御さんから頂いた意見を参考にまとめたものになります。

3.書道について知り実際に書いてみましょう(お手本有り)

この章では、書道についてあまり詳しくご存知ない方へ道具の説明や筆の持ち方などを説明します。最後にはお手本も載せておりますので、道具をお持ちの方は実際に書いて楽しんでみてください。(ページの都合上硬筆の解説は省略いたします。ご理解の程お願いいたします。)

3.1 書道の道具たち



以上 8 点が書道に必要な基本的なセットです。杉山書道教室にご入会時には必須ではございませんがほとんどの方にこれらのセットをご購入いただいております。(定価での販売ですのでご安心ください)

理由としては様々なメリットが有るからです。以下ではそれらについて詳しくご説明いたします。

① 半紙

半紙は少し質の良いモノを使用しております。安い半紙ですと紙がすぐに破れてしまい練習にはあまり向いていません。

② 墨汁

墨汁は標準タイプのものです。ただ 100 円ショップなどの安い墨汁は少し薄めに製造されており、紙ににじみやすいため紙が破れやすくなってしまいます。

③ すずり

すずりは一般的なモノとは少し異なり、蓋を占めるだけで後片付けが済むお掃除のいら

ないタイプを使用しております。このメリットは片付けの手間が大幅に削減できる点です。一般的なすずりですと、すずりについた残りの墨を紙に吸わせきれいにしてからカバンにしまう手間がありますが、その時間を短縮することでお稽古により時間を充てることができます。

④ ぶんちん

文鎮は概して値段に応じて重くなるという特徴がございます。安いものと軽量で文鎮の効果を発揮できず書いている最中に紙がずれてきてしまうため練習には不向きです。

⑤ 下敷き

下敷きを利用せず代わりに新聞を使用することも可能ですが、毎回新聞を交換しなければならない手間がとても煩雑で練習自体に嫌気がさしてしまいます。フェルトの下敷きですとそうなる心配はございません。

⑥ 筆巻き

ふでまきは筆を運ぶための道具です。こちらは一般的なタイプのものです。

⑦ 太筆

書道では起筆(一画の最初の部分)がとても大事です。ですがそれは筆先が整っていることが前提となります。100円ショップのタイプですと早期に筆先が乱れてきてしまい、良い字を習得することが難しくなります。

⑧ 小筆

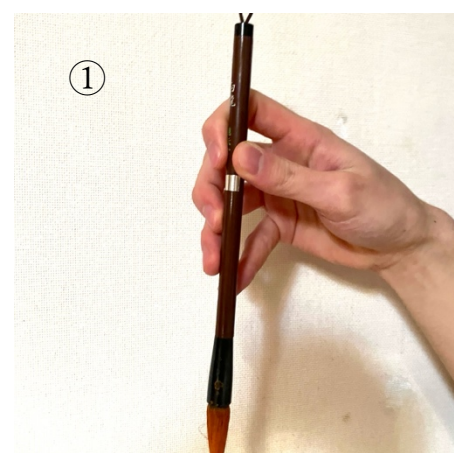
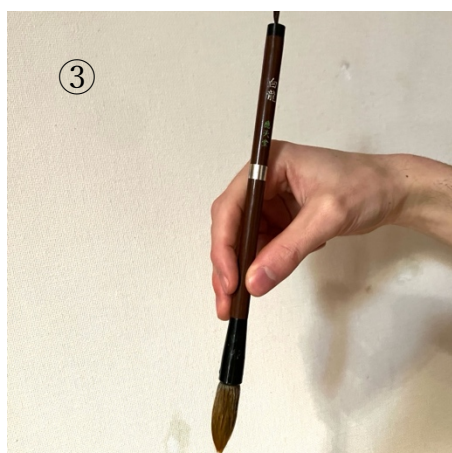
内容は⑦と殆ど被りますが、小筆は特に先がボサボサになりやすいので少し質の良い筆を使用することを奨めております。

3.2 姿勢と筆の持ち方



姿勢は左の生徒さんのように正座をして背筋を伸ばして書きます。姿勢を正すことで気持ちが整い不思議と字も美しくなります。

筆の持ち方はいくつかありますがここでは3種類ご紹介いたします。



まず、筆の持つ位置は筆の柄の端から5cm以上うえを持ちます。下の方を持ちすぎではない理由は可動域が狭くなることで字が縮んでしまう傾向があるからです。下で掲載しているお手本の写真では10cmほど上を持っていますが、基本的には5cmほど上を持ちます。

- ① 中指をだす持ち方
- ② 中指を中にいれる持ち方(鉛筆持ち)
- ③ 中国式の持ち方

少し前の世代では①の持ち方が基本でしたが、現在は②の鉛筆持ちも増えています。③の持ち方は日本では一般的ではありませんのでご紹介にとどめておきます。①か②の持ちやすい方で筆をお持ちください。

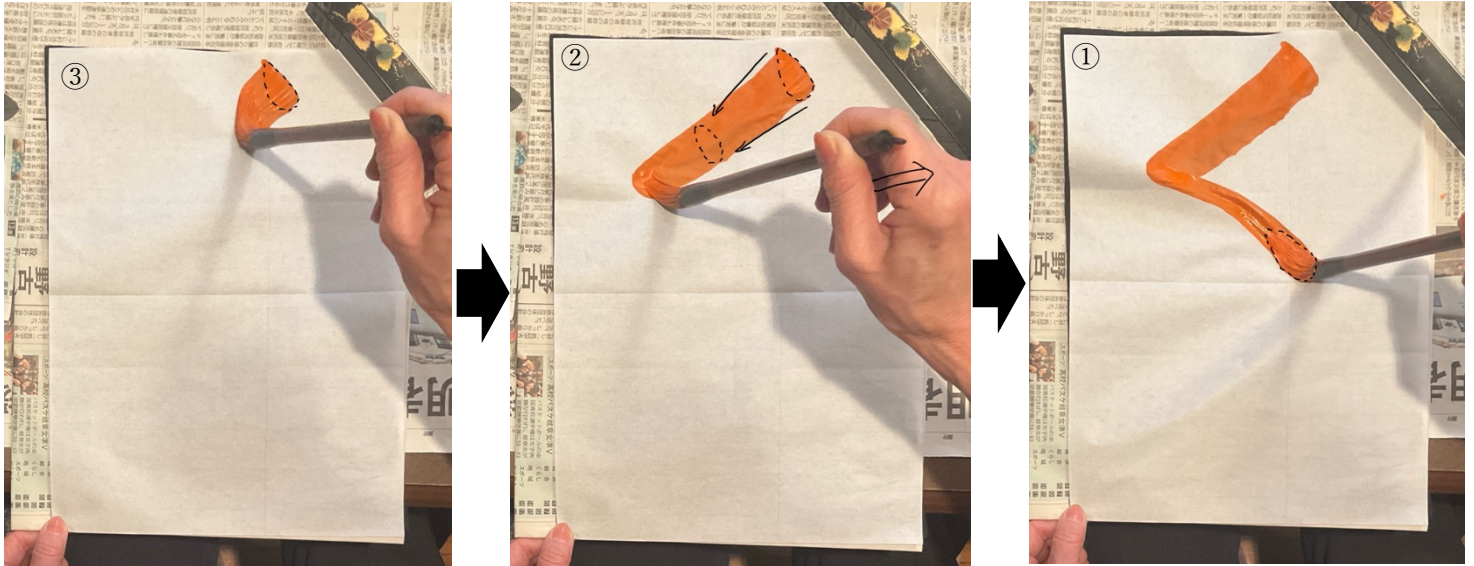
3.3 書き方の基本

書道(毛筆)では重要な基本的動作が5つございます。1.起筆 2.終筆 3.角(かど) 4.はね 5.はらい。起筆とは一画の書きはじめを指します。終筆は一画の終わりを指します。角とは例えば「く」「四」など角の部分のことです。はねは「さ」の二画目から三画目に向かう時などのはねを指します。はらいは右払いと左払いがあり右払いが少し高度のレベルが必要です。

また、硬筆とは異なり毛筆には筆を持ち上げたり下げたりする上下の動きが加わってきます。それらに注意しながら以下のお手本を書いてみましょう。

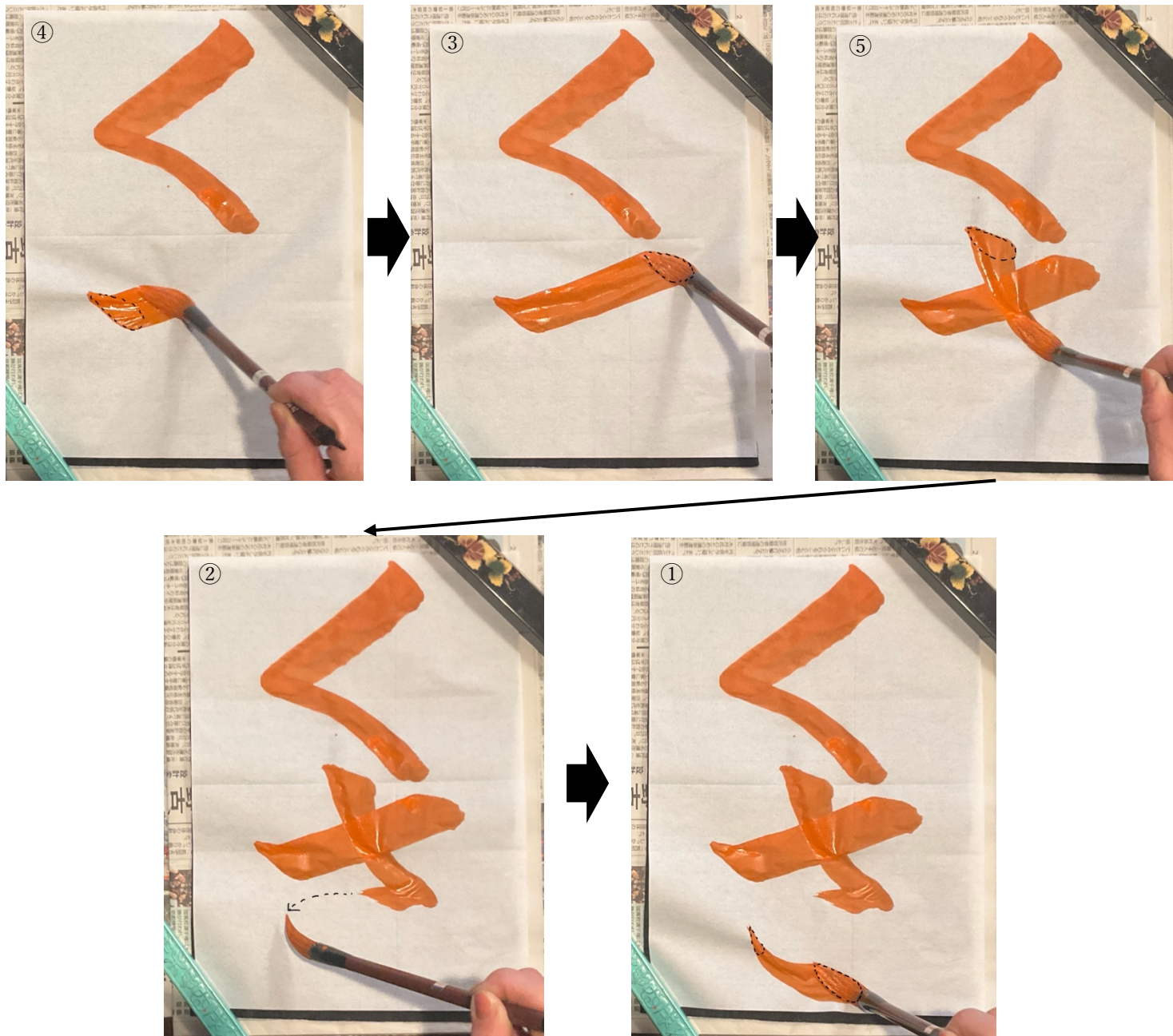
3.4 お手本をみて書いてみましょう

3.3 で紹介した重要な要素 5 つのうち 1~4 を含んだ「くさ」を書いてみましょう。まずは「く」の解説です。

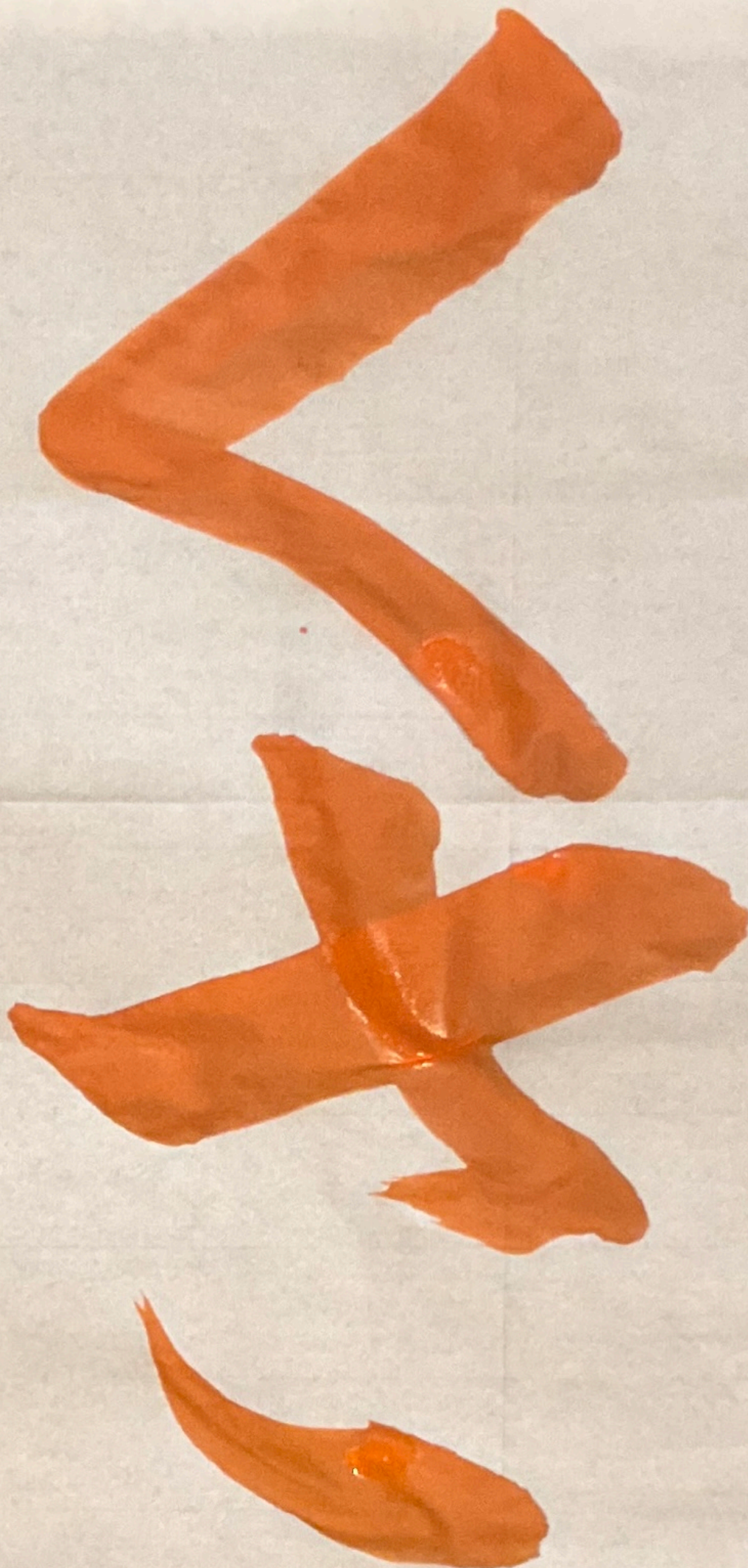


- ① 起筆に注意して筆を置き、左下に向かって平行に筆を動かします
- ② わずかに細くなるように筆を持ち上げながら動かし、折り返しの角の部分で筆を上げて方向転換します
- ③ 右下に向かって駆け下りるように筆を動かします。終筆の筆の向きに注意しましょう

次は「さ」の解説です。



- ① 起筆に注意しながら 20 度ほど右上に向かいながら平行に筆を動かします
- ② 終筆に注意しながら一画目を終わめます。このとき筆のおしりを置きすぎないように注意しましょう
- ③ 二画目は起筆の向きが少し変化しながら払いに向かいます。はらいのときは筆を少し持ち上げながら払います
- ④ 三画目の起筆に向けて流れるように筆を動かします
- ⑤ 終筆に向けてだんだん太くなるように筆下げながら筆を動かします



4.杉山書道教室で大事にしていること

杉山書道教室で大事にしていることは主に3点ございます。1つ目は努力を通して目標達成を実感していただくこと、2つ目はお行儀を学んでいただくこと。3つ目は美しい字の書き方を習得していただくこと、となります。

1【努力と目標達成について】

杉山書道教室は書新書道会に所属しており、月に一度月刊書道誌【書新】に出品し生徒さんは昇級を目指して頑張ってお稽古しています。毎月かなり多くのお子様（大人も含む）が、努力を認められ、昇級することが出来ています。又、毎年6月11日には昇級試験があり、二段階進級の審査もあります。子どものモチベーションにもなっており、月末のお清書日には、普段に増して、皆さんの真剣に取り組む姿が見られます。努力が実をむすぶことの実感と達成感が子どものうちから醸成します。

また、周りの子供が頑張っていることに影響を受け、どのお子様も真剣に取り組めるようになりました。書道教室という環境が子供にとっての成長の場になっています。



2【お行儀について】

杉山書道教室では、特にこの点に力をいれて指導をしています。具体的には以下のことを行っております。

まず教室に入るときは挨拶をする、履物を揃える。先生に作品を見せる時は「おねがいます」と言う、作品は先生が見やすいように相手の方に向きを変える。先生とは敬語で話し最後に「ありがとうございました」と言う。お稽古が終わったら自分の雑巾で自分の場所をきれいにして後を去る。教室を出るときは「ありがとうございました」と言う。



これらは、お子様が世の中に巣立ったとき必ず役に立つお作法と考えておりますので、手を抜くことなく指導しております。

3【美しい字の習得について】

もちろん書道教室なので美しい字の書き方の習得も大事なことです。特に書き順を重要視しており、なるべく目を光らせております。美しい字を書くには自然に流れるような滑らかな形の字を意識することが大事です。

書き順の違っている子には声掛けをし、その場で一緒に調べるなどして、楽しく学んで頂けるように心がけております。



5.親御様がたの声

親御様の率直な意見をお聞きしました。サイトの方には一部のみを掲載しておりましたがここではすべての声を載せさせていただきました。よければご参考になしてください。

杉山書道教室で3人の子供がお世話になっております。先生は子どもの姿勢や書き方のくせをみつけどうしたら良くなるか丁寧にご指導して下さいます。また、ほめ上手で子供のやる気を引き出して下さいます。たのしくお稽古ができる様でとても安心しております。お陰さまで賞をたくさんいただき家族で喜んでおります。先生のご指導で子供の心を豊かにしてくれると感じます。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

教室に通うようになって、集中力や忍耐力が養われたと思います。ありがとうございます。

年中より硬筆を習い、お稽古に通い3年目になります。漢字ドリルや日記など、親が字を直す事なく、杉山先生には熱心にご指導いただきありがたいと思っています。学校の先生からも『字が上手だね』と褒められると本人もうれしそうです。毛筆はまだですが、学年で1番になれるように頑張っています。

通常のお教室レッスン以外に条幅のお教室レッスンもあり、気分が変わり、集中して取り組んでいるようです。その後のご褒美くじ引きも子供達にとっては楽しみの1つです。頑張ったあかつきに昇級していると更にまたやる気が増すそうです。姉妹競いあって切磋琢磨していて、見ていて良い雰囲気が築けているなあと思います。

先生のご指導をいただき進級できて励みになったり、歳を重ねて褒めていただけることもない中で褒めていただけたり、お教室の皆さんもいい人ばかりで月曜日が楽しみです。

マイペース・ゆっくりな子供ですが、あたたかくご指導していただいています。

毎回真剣に取り組めるようになってきました。進級もスムーズにさせていただいて、とても良いきっかけになっています。

ご近所で習字を教えて頂けるので、親としてはとても助かっています。時々、大きい文字を書く体験もさせてもらえるので、子供にとっても楽しく学べる場だと思っています。

杉山先生のお手本の字に一目惚れをして書道教室に通い始めました。書道展などのコンクールに出品する作品も、杉山先生の見事なお手本を参考に頑張っているのですが、実力以上の賞を頂いている気がします。いつもありがとうございます。

下の子は幼稚園のときから通い始めました。お道具の使い方がままならないなか、いつもどんなときも、広い心で、長い目で、先生はじめ、同じお教室の子どもたちまでもが、見守り、接してくださるので、親子ともに感謝しております。

・毎月変わる課題・先生のご指導のポイント
書くことに集中しても、納得いく”字”はなかなか書けない。
でも、週1回教室でお友達と会い楽しいひとときを過ごしています。

兄弟で通わせていただき、2人とも毎回上手に書けた字を嬉しそうに持って帰って来て見せてくれます。毎回楽しみにしています。ありがとうございます

いつもお世話になりありがとうございます。
書道では、文字に集中する事で、心が落ち着き、リフレッシュできます。
この時間が好きで、お稽古の時間を大切にしています。
満足した作品がなかなか出来ませんが、仕上がった達成感も、なんとも言えません。
これからもよろしくお願いします。

先生の書が素敵でかっこよく通わせて頂いてます。親の介護もあり練習時間も取れず上達にはほど遠い私です。書道は日常の中、心穏やかに自分と向き合えるそんな時間のよう気がします。だめな生徒ですがこれからもご指導よろしくお願いします。

通常のお稽古では、出来ない大きい習字、半切。毎回、お声がけを頂くと、喜んで参加しています。夏には、墨をこぼしてしまうというハプニングもあり、先生にはご迷惑をおかけしました。自宅では、出来ないお稽古。とてもよい経験をさせてもらっています。お習字に通っていることから、学校での書写の授業では褒められることがよくあるようで、まだまだ、上手とはいえませんが、自信をもって、学校でも取り組んでいるようです。

先生がしっかり教えてくれて字が綺麗になっていくのが嬉しいです！

5. 体験でできること



体験を通してできることは主に2つあります。1つ目は、筆を使って書道の楽しさの一旦を味わうことができる点、2つ目は、お行儀の基本を学べられる点です。

1つ目に関しては、筆の持ち方から基本的な筆の使い方の体験です。やはり、鉛筆やペンとは違い筆は横の動きだけではなく縦の動きがありクセがあるためその感覚を体験していただけます。硬筆の体験ですと、講師が書いた課題のお手本を見ながら練習し講師が添削しまた練習、といったようなことを体験していただきます。体験のお時間はおよそ30分ほどになります。

2つ目に関しては、教室に入ってから出るまで基本的なお行儀のお作法を学んでいただきます。今まで体験に来られた生徒さんはできるまで帰ることができないという制約を設けることで、大人と接するときの態度や人の家に上がるとき作法を学んでいただけたと思います。

7.最後に

ここまで読んでいただきありがとうございました。書道では字がうまく書けることも大事ですが、さらに大事なことはその奥にある精神性であり、教室ではその育成を重視していることをご理解いただければ幸いです。

ご検討の際はまずはお気軽にお問い合わせください。その後ご入会されなくても一回の体験がきっかけで役に立つと信じています。

また、もしお子様が体験後に書道を習うことを嫌がられた場合はご入会されないことをおすすめいたします。これまで

お子様御本人にやる気のない場合、やる気の無さが書に表れてしまうことがあります。お子様に合った習い事が見つかりますように。

杉山 理恵

電話番号: 090-1299-7082

メールアドレス: risaahai@yahoo.co.jp

杉山書道教室 体験申込書

氏名: _____

(御きょうだいで申し込まれる方は連名でご記入ください)

学年: _____

学校名: _____

体験に来られる際に、こちらの画面をお見せいただくか、印刷物をご持参ください。

体験料金が本来 1,000 円/1 人無料になります。

印刷されない場合は、メールなどで氏名と学年を教えてください(お名前のお手本作成のため)。